

平成 18 年度

住宅・建築関連先導技術開発助成事業

応 募 様 式

(様式1)

フェースシート

1. 応募テーマ 1 住宅等におけるエネルギーの効率的な利用に資する技術開発 2 住宅等に係る省資源、廃棄物削減に資する技術開発 3 住宅等の耐震性の向上に資する技術開発
2. 応募課題名
3. 技術開発の概要
4. 技術開発期間
5. 今年度に要する技術開発に係る経費の額・補助金の額
6. 他の補助金の有無
7. 応募者の構成員
8. 経理担当者
9. 事務連絡先

(様式2)

技術開発の内容

応募課題名
1. 目的・必要性
2. 期待される具体的な成果
3. 技術開発の方法・手順
4. 対象技術・関連技術の現状及び動向

(様式3)

技術開発の計画

<技術開発期間が3年の場合の例>

(単位：百万円)

応募課題名				
技術開発項目	平成17年度	平成18年度	平成19年度	経費の総額
直接技術開発経費				
(1)・・・に関する技術開発				
(2)・・・に関する技術開発				
(3)・・・に関する技術開発				
・				
・				
()・・・に関する技術開発				
間接経費				
合計 (うち補助金の額)				

(注) ・主な技術開発項目毎に記載してください。(各項目の下に見込額を記載してください)

・間接経費は、直接技術開発経費の30%相当で計上することになります。

(様式4)

技術開発に係る経費の内訳

<技術開発期間が3年の場合の例>

(単位：百万円)

応募課題名	資金計画			総額
	実施年度	17年度	18年度	
直接技術開発経費				
設備備品費 (器具機械類の名称)				
消耗品費				
旅費				
謝金				
賃金				
役務費				
委託費				
その他 (内訳)				
印刷製本費				
通信運搬費				
光熱水料				
会議費				
労働者派遣事業者からの技術開発補助者派遣				
特許申請に必要な経費				
借料及び損料 (リース料)				
.....				
間接経費 (直接技術開発経費の30%相当)				
合計				

(注)

- ・技術開発全体の所要経費及び項目ごとの所要経費について、見込額を記載してください。
- ・50万円以上の備品を購入しようとする場合は、リースにできない理由書及び機種選定理由書を添付してください。
- ・設備の購入経費が、補助額の90%を超える場合は、単なる設備購入の計画でないことの説明書を添付してください。
- ・委託費が申請する補助額の50%を超える場合は、その理由書を添付してください。

(様式5-1)

技術開発の実施体制（その1）

応募課題名	
1. 技術開発担当者	
2. 技術開発を実施する施設等	
3. 構成員間の費用の分担	

(様式5-2)

技術開発の実施体制（その2）

応募者の構成員ごとに作成してください。

応募課題名	
<p>1. 応募者の構成員</p>	
<p>2. 構成員の技術開発の実績</p> <p>(1) 特許等取得件数（申請中を含む）</p> <p>(2) 技術開発成果</p>	

※ 応募者の構成員のうち、法人については定款及び財務諸表を添付してください。

(様式6-1)

審査基準に関する事項 (その1)

応募課題名	
1. 技術革新性	
2. 技術開発の実現可能性	

(様式6-2)

審査基準に関する事項 (その2)

応募課題名	
3. 実用化・市場化の見通し	